

令和2年2月吉日

保護者の皆様

瑞穂市立中小学校
校長 関谷 典久

「令和元年度 第2回 教育アンケート」集計結果

新春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、2学期末に行いました「教育アンケート」へのご協力、ありがとうございました。本校の教育活動や子ども達の姿についてA～Dの4段階評価で回答していただいた結果を1学期の結果と比較しグラフにまとめました。児童のアンケート調査の結果と合わせてご覧いただけるとありがたいです。

前回と比較して、子ども達は「授業中は進んで課題に取り組み、自分の考えを発表した」「すぐにできないことでも、あきらめず粘り強く学習した」「学校に行くのが楽しい」が前回よりポイントが上がりました。また、「交通事故や不審者に気を付けるように教えてもらっている」が過去最高のポイントとなっているのは、図らずも校区で続けて心配な事案があったことを反映しているのかもしれませんが。保護者の方では、「校外学習や地域の人とのふれあいなど豊かな体験ができて」「異年齢集団活動を通して温かい人間関係の育成に努めている」も9割を超える達成率です。また、「学校は人権を大切に、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」もこれまでの中で一番よい達成率であったことは本当に有り難いことです。しかしこれに安心することなく、今後とも「温かい人間関係づくり」に粘り強く取り組んでいきたいと考えます。今後ともご理解、ご協力をお願いします。

ご意見・回答

- いろいろ悩むことがあります、子どもが毎日学校に行くことを楽しみにしていて、親としても喜ばしいです。これからも楽しくて行きやすい学校であってほしいです。
- お友達とのトラブルがあった時でも速やかに連絡を頂けて助かっています。なかよし班、家庭教育学級など、他学年の子と接することが多いことをとても喜んでます。
- いつもお世話になっております。子どもが学校での出来事を楽しく話してくれます。先生のこと大好きみたいです。これからもどうぞよろしくお願いします。
- いつも子ども達をサポートしていただきありがとうございます。おかげ様で学校を嫌がることなく楽しく通えています。大変だとは思いますが、これからもよろしくお願いします。
- 担任の先生には、いつも子どもを評価していただき感謝しています。適切に対応していただいているので、子どももとても信頼しているようです。
- 子どもについての相談で、親や子どもの意見を聞き入れつつも、別の角度(視点)から「こういう方法もあるのでは」と先生の考えとしてのアドバイスもあり助かります。
- 学校行事等、活動的な行事はとてもよいと思います。
- 来年も、今の担任に先生でお願いします。
- 学校が楽しい言って通ってくれるので、本当にありがたいです。
- 我が子は自分から「先生」と話しかけに行けないようですが、先生から声をかけてもらうと、帰ってから「先生とこんな話をしたよ!」と嬉しそうに教えてくれます。そんな話を聞くことができ嬉しいです。
- ▲学校内ではあいさつは出来ていると思うのですが、朝、集合場所に集まっている時は、一部の子は出来ていますが、全く出来ていないと言ってもよいかと。地域の方、子ども同士も声が小さく、元気がない印

象です。進んであいさつが出来るようになるとういのです。

※前回の学校反省でも記載させていただきましたが、「地域に帰るとあいさつができない子がいる」というのも課題はなかなか解決できません。MSKや執行委員の子ども達の取り組みの力も借りながら、中小学校の子ども達のあいさつがさらにパワーアップするように指導していきます。地域でも、子ども達から出来ていないと思われる場合には、大人の方からでも挨拶することで、よい習慣が持続できるようにご協力をお願いします。

▲いつもお世話になっております。本人は「休み時間や体育が楽しい」と言っていますが、何か分からないことがあっても「聞けない」と言います。本人の性格の問題かもしれませんが、その点が少し心配です。

※ありがとうございます。本来は、「困ったことや分からないことは自分から発信していける」ことが大切なのですが、必ずしも自分から話せる子たちばかりでないことは十分承知しています。そのためにも日頃のアンテナを高くして、少しでも「困ったなあ」ということがあれば声かけをしていきたいと思っています。おうちでも何かご心配なことがありましたら、些細な事でも結構ですので学級担任にお知らせ下さい。

▲お世話になっています。いつもありがとうございます。一つだけお願いがあります。運動会ですが、喫煙コーナーをなくしていただきたいです。校外とはいえ、子ども達の目にふれますし、煙が門を通るたびに流れてきます。

※ありがとうございます。喫煙コーナーにつきましては、世の中の動静も鑑みて、今後検討していきます。

▲授業参観の参観をする時間を決めずに、一日のどの授業でも参観できるようにしてもらえると、よりいつもの子ども達がどんな感じか見られてよいのでは。駐車場も混まずに済むと思います。

※ありがとうございます。授業参観の在り方につきましても、保護者の皆様方のニーズや負担を考慮して「フリー参観日」（その日はどの授業でも参観できる）を考えていきます。今のところ、PTCの日を1時間目から6時間目（低学年は5時間目）まで参観できる「フリー参観日」にする予定です。

▲担任の先生によりけりだと思いますが、「児童に対する対応がちがう」と子どもが言っていました。大変だとは思いますが気にかけてもらえるとよいと思います。

※ありがとうございます。お子さんは十人十色。それぞれに個性も育ってきた環境も異なります。そのため、それぞれの個性に即した個別の支援をすることが大切であり、全てのお子さんが誰もができるようにすることこそが学校の大きな役割だと考えます。時にはお子さんによって支援の方法が違うことはありえます。大人の思惑が十分に子どもに伝わらないかもしれません。

■2020年教育改革で、中小は具体的に何が変わるのかを事前に知りたいです。「元気で楽しい中小」づくりを応援しています!!

※いろいろと報道等でご存じの方も多いかと思いますが、いろいろとこれまでとは大きく違うことがあります。しかし、中小学校では、今年度より、いくつかのことについては先行実施しています。

①5年生・6年生の英語は年間70時間、3年生・4年生の英語活動は年間35時間の実施となりますが、中小学校では今年度より既に実施しています。中学校の英語科の前倒しではなく、英語を使って互いに思いを伝え合うやりとりを中心とした学習であることは、今年度と大きく変わりません。ALTや担任の先生とデジタル教科書を使ってコミュニケーション能力を育てる学びをしていきます。

②プログラミング教育が全学年で行われます。しかし、これも中学校の技術家庭科の「制御」の学習のようなBASIC等のコンピュータ言語を使ったプログラムを作ることを目的とした学習ではなく、プログラミング的思考を育てる・すなわち論理的な思考力・表現力・判断力を育てるような学習を1年生より少しずつ始めます。新しい算数科の教科書には「プログラミング学習」というページが入っています。この部分については来年度より新たに加わる部分です。

③「特別な教科 道徳」に関しては、今年度より実施しています。教科化されたとは言え、評価や評定を付けられない「特別な教科」ですので、今年度のように学年末に年間の学習の様子を文章でお知らせします。